

# 令和5年度 第12回柿崎区地域協議会 次第

日 時：令和6年3月19日（火） 午後6時～  
場 所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 会議録署名委員の指名

## 4 報告事項

(1) 上越市消防団柿崎方面隊の組織体制の見直しについて・・・・・・・・・・資料 1

(2) 令和6年度柿崎区における主な事業について・・・・・・・・・・資料 2

(3) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告・・・・・・・・・・資料 3 資料 4 資料 5

## 5 その他

## 6 閉 会

## 上越市消防団柿崎方面隊の組織体制の見直しについて（報告）

上越市消防団では、団員の減少等に伴い、消防団の役割を果たすことが困難になりつつある状況を踏まえ、令和元年度の「再編実施計画」に基づき、将来を見据えた「組織体制の見直し」と「消防団員の確保」に向けた取組を進めているところです。

柿崎方面隊については、現在構成されている柿崎分団、川西分団、下黒川分団、米山分団の4つの分団のうち、下黒川分団と米山分団の組織の見直しを図り、令和6年4月1日から、下記のとおり体制を変更することといたします。

変更前			変更後		
分 団	消 防 部	管 轄 町 内 会	分 団	消 防 部	管 轄 町 内 会 (更正なし)
下黒川分団	下小野	上小野、下小野	下黒川分団	下小野	上小野、下小野
	高 寺	柳ヶ崎、高寺、荻谷、川田、阿弥陀瀬		高 寺	柳ヶ崎、高寺、荻谷、川田、阿弥陀瀬
	百 木	百木、上金原		百 木	百木、上金原
	巴・下条	行法、角取、落合、下金原、下条		巴・下条	行法、角取、落合、下金原、下条
	上直海	上直海、桜町新田、江島新田		上直海	上直海、桜町新田、江島新田
米山分団	黒川第一	高畑、水野、下牧、岩野、米山寺、(平沢)	黒 川	黒川第一	高畑、水野、下牧、岩野、米山寺、(平沢)
	黒川第二	岩手、下灰庭新田、芋島、松留、上中山、猿毛、城腰、東横山、南黒岩、北黒岩		黒川第二	岩手、下灰庭新田、芋島、松留、上中山、猿毛、城腰、東横山、南黒岩、北黒岩

※消防小屋及び車両等は変更後もこれまでどおり使用

### ○ 令和6年4月1日以降の柿崎方面隊の体制

分 団	消防部	消防小屋	車 両	可搬ポンプ	団員数 (3/1 現在)
柿崎分団	3	3 か所	3 台	3 台	38 人
川西分団	4	4 か所	4 台	3 台	55 人
下黒川分団	6	6 か所	7 台	7 台	84 人
柿崎区総合事務所 消防隊	—	—	2 台	—	10 人
ラ ッ パ 隊	—	—	—	—	8 人
計	13	13 か所	16 台	13 台	195 人

※団員数：方面隊幹部2人は含まない。

※この内容は、予算の成立を前提としたものです。

## 令和6年度 柿崎区における主な事業

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
1	<b>住民主導型コミュニティ交通事業負担金</b>	総務・地域振興G	交通政策課	5,812
	黒岩線・水野線の路線バス廃止に伴い、代替交通としてNPO法人柿崎まちづくり振興会が運行する「はまなすバス」の取組を支援する。			
2	<b>地域独自の予算事業補助金</b>	総務・地域振興Gほか	地域政策課ほか	6,962
	<p>柿崎区の地域住民がそこに住み続けていく上で誇りや愛着を持ち、暮らしの満足感や質を高めていけるよう、地域課題の解決や、活力の向上を図るために、地域の実情に合った取組を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹事業：246千円 (地域政策課 柿崎区地域振興事業) 地域住民の交流促進と地域のにぎわいを創出するため、市民の大切な水瓶である柿崎川ダムのかきざき湖八重桜広場において、八重桜の植樹及び手入れ作業を実施する。</li> <li>黒川黒岩ふれあい事業：1,308千円 (地域政策課 柿崎区地域振興事業) 地域住民と出身者との交流促進、相互が一体となり地域を支え守ろうとする地域コミュニティの醸成を図るため、旧黒川小学校跡地の環境美化、米山古道の散策と遺跡めぐり、黒川黒岩ふれあいまつり等の事業を実施する。</li> <li>柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業：1,316千円 (地域政策課 柿崎区地域振興事業) 地域の一体感や郷土愛を醸成するため、郷土の伝統芸能「十三夜」の伝承に向けた講習会や下黒川地区夏まつり等を開催する。</li> <li>地域活性化のための空き家利活用推進事業：2,845千円 (建築住宅課 空き家等管理促進事業) 柿崎区内における空き家の利活用を進め、柿崎区内への移住・定住を促進するとともに、地域の活性化と生活環境を維持するため、空き家総合相談窓口や移住体験ツアーなどの空き家利活用推進事業を実施する。</li> <li>第7回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展：422千円 (社会教育課 青少年教育活動事業) ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、ものづくりに取り組む市民の作品発表の場を設ける。</li> <li>猿毛城址登山道保存事業：508千円 (文化行政課 歴史文化推進費) 地域住民が地区の歴史・観光資源を再認識するとともに、環境整備・保存の意識を高めるため、登山道の樹木の管理や講演会の開催などの猿毛城址登山道保存事業を実施する。</li> <li>「テニスのまち柿崎」スポーツ交流促進事業：317千円 (スポーツ推進課 一般スポーツ活動推進事業) テニス大会の開催により交流人口の増加を図るとともに、ジュニアテニス教室の開催により「テニスのまち柿崎」の歴史を次世代につなぐ人材を育成するためスポーツ交流促進事業を実施する。</li> </ul>			

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
3	<b>地域おこし協力隊を活用した集落支援</b>	総務・地域振興G	地域政策課	10,567
	<p>総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地域外の人材を新たな担い手として受入れ、地域の維持、更なる活性化を図るとともに、3年後の定住を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協力隊員： 莊司勇太（令和4年5月9日～令和7年5月8日）</li> <li>活動範囲： 東横山、南黒岩、北黒岩</li> <li>活動内容： 農業支援、地域振興支援、生活支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>協力隊員： 新たに1人採用</li> <li>活動範囲： 芋島</li> <li>活動内容： 農業支援、地域振興支援、生活支援</li> </ul>			
4	<b>地域集落支援事業等</b>	総務・地域振興G	地域政策課	32,825
	<p>○集落づくり推進員の配置:32,422千円 集落づくり推進員を配置し、集落の巡回や集落の将来像を考える話し合いの働きかけを行うとともに、話し合い等により把握した課題の解決に向けた支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落づくり推進員：市川茂（令和3年5月10日～）</li> <li>対象集落：高齢化率がおおむね50%以上の集落 雁海、下中山、小萱、上小野、落合、下灰庭新田、芋島、松留、上中山、猿毛、城腰、水野、下牧、平沢、岩野、米山寺、東横山、南黒岩、北黒岩</li> </ul> <p>○中山間地域支え隊事業：403千円 企業や学校等の協力を得てボランティアの派遣を行い、中山間地域集落において不足する労力を補完し、安全・安心な暮らしを確保するとともに、市民全体で中山間地域の公益的機能を支えていくための意識を醸成する。</p>			※予算額は市全体分
5	<b>柿崎区地域振興事業</b>	総務・地域振興G	地域政策課	5,188
	<p>柿崎区の地域振興と活性化を図るために、市民活動団体等が実施する事業に対し、補助等により支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柿崎区産業まつり：232千円 柿崎区の農林漁業者・商工業者の協賛で柿崎区産業まつりを開催し、その中で地場製品の展示・即売を行うことにより、地場製品の消費拡大と産業の活性化を図る。</li> <li>柿崎時代夏まつり：1,934千円 柿崎区の象徴である柿崎和泉守景家公の偉業を称え、地域の活性化と市民の連携を図る。</li> <li>地域資源活用等推進事業：688千円 市民が連携を深め、互いに支え合い、安全で安心して暮らせる住み良いまちづくりを進めるため、地域活性化に向けたイベント・事業を行う。</li> <li>お引き上げ商工まつり等：2,334千円 柿崎区の伝統的イベントのお引き上げ商工まつりと納涼花火大会を開催することで、市民連携の高揚と観光客増加による地域の活性化を図る。</li> </ul> <p>※地域独自の予算事業補助金分は別枠で記載</p>			
6	<b>柿崎コミュニティプラザ管理運営費</b>	総務・地域振興G	地域政策課	24,738
	<p>上越市コミュニティプラザ条例に基づき、地域住民による自主的・自立的な地域づくり活動の拠点として利用できる施設の提供と適切な維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放：ホール、多目的ルーム、和室、会議室、キッズルーム、市民活動室</li> <li>夜間入口通路天井部雨漏り修繕</li> <li>プロジェクター購入</li> </ul>			

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
7	<b>柿崎コミュニティプラザ整備事業</b> 地域住民による主体的・自立的な地域づくり活動の拠点となる施設及び13区における市政運営の拠点となる総合事務所庁舎として、安全・安心して、また、長期的に使用するための整備を適切に行う。 ・駐車場区画線補修修繕	総務・地域振興G	地域政策課	814
8	<b>町内会集会場設置等補助金</b> 町内会館の修繕に係る補助金 (高畑、角取、南黒岩を予定) ・事業費 30万円以上 ・補助額 事業費の50% (耐震補強工事は60%) ・限度額 750万円	総務・地域振興G	地域政策課	938
9	<b>消防施設管理費</b> 消防活動が迅速かつ確実に行えるよう消防器具置場、消防車両、小型動力ポンプ、消防水利施設を適切に維持管理する。 ・消防車両修繕費 958千円 ・消防車両点検等費用 1,126千円	総務・地域振興G	危機管理課	2,453
10	<b>柿崎区農村公園管理運営費</b> 安全で快適な公園環境を維持する(七ヶ、下黒川、黒川)。 地元と協働管理事業協定を締結して効率的な管理を行う。	産業G	農林水産整備課	495
11	<b>多面的機能支払交付金</b> 農業の多面的機能を支える地域活動や地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。 ○多面的機能支払補助金 川西地区はじめ21活動組織(43集落) ・農地維持支払 30,704千円 ・資源向上支払(共同活動) 17,392千円 ・資源向上支払(長寿命化活動) 40,479千円	産業G	農林水産整備課	88,575
12	<b>中山間地域等活性化事業</b> 生産性向上等が困難な中山間地域における農業の確立と地域資源の利活用等を通じて農業、農村の活性化を図るため集落共同活動を支援する。 令和2年度からの第5期対策では、棚田地域振興加算を活用して、棚田地域の振興を図る取組を行う。 ・中山間地域等直接支払交付金 黒川・黒岩地区集落協定はじめ2協定(17集落)	産業G	農政課	56,599
13	<b>柿崎区露店市場運営事業</b> 毎月1日、11日、21日に開設する常設露店市場「一の日市」の開設及び管理を行う。 移動露店市場(お引き上げ商工まつり、納涼花火大会)の開設及び管理を行う。	産業G	観光振興課	2,962
14	<b>柿崎区観光振興対策事業</b> 柿崎観光協会と連携し、柿崎の観光資源の発掘を行うとともに、柿崎区の観光振興を図り観光施設への誘客、各種イベントへの集客を図る。 ・柿崎観光協会への補助金 ・米山山頂避難小屋連絡協議会負担金(山頂施設の維持管理及び山頂の環境整備)ほか	産業G	観光振興課	3,504
15	<b>柿崎区観光施設等整備事業</b> 観光施設の維持管理や整備を適切に行い、施設の安全性や快適性を確保するとともに、利用客の満足度を向上させ、交流人口の拡大とリピーターの増加を図る。 ・海水浴場等事業委託料 ・観光施設清掃・整備委託料 ・公衆トイレ維持管理委託料 ・米山関係工事及び委託料負担金 ほか	産業G	観光振興課	15,157

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
16	<b>道路整備事業</b>	建設G	道路課	87,836
	市民生活の安全、利便性の向上と快適な生活環境の確保を図るため、生活関連道路の整備を行う。 ・馬正面川井線（側溝改良） …合併施工負担金 N=1式 ・桃園線（側溝改良） …側溝改良工事 L=442m ・鳶山線（側溝改良） …側溝改良工事 L=173m ・川井村中線（側溝改良） …用地測量・調査業務委託 L=110m ・三ツ屋浜村中線（側溝改良） …側溝改良工事 L=337m ・三ツ屋浜村中2号線（側溝改良） …側溝改良工事 L=119m			※R6.1月補正分を含む
17	<b>柿崎区道路維持費</b>	建設G	道路課	80,774
	道路損傷箇所の修繕のほか、道路清掃、除草等の実施により、一般交通に支障を来さないよう、市道を維持管理する。 ・施設管理委託 ・道路維持修繕工事 ・計画的舗装修繕工事 2路線（黒岩芋ノ島線、下小野線） ・外側線の計画的修繕 0.91km（上下浜線他） ・災害防止対策工事 3路線（黒岩芋ノ島線、柳ヶ崎荻谷線、山谷旭町線）			※予算額には債務負担行為分を含む
18	<b>除雪費</b>	建設G	雪対策室	226,835
	冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。 <b>【柿崎区の主な業務】</b> ・貸与除雪車維持管理費（貸与車両14台） ・市道除排雪委託（車道除雪延長125.81km） ・気象観測委託（3箇所） ・除雪機械購入費（ドーザ1台、ロータリー2台）			
19	<b>消融雪施設管理費</b>	建設G	雪対策室	1,122
	消雪パイプや流雪溝など消融雪施設の適切な維持管理を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。 <b>【柿崎区の主な業務】</b> ・消雪パイプ維持管理費（延長1.63km）			
20	<b>柿崎公共下水道維持管理</b>	建設G	生活排水対策課	87,225
	柿崎区の公共下水道施設の管理を適切に行う。 ・柿崎浄化センター運転管理 ・下水道管渠維持管理			
21	<b>上越市住宅リフォーム促進事業</b>	建設G	建築住宅課	82,851
	地域経済の活性化と住環境の改善を図るため、リフォーム工事費用の一部を補助する。			※予算額は市全体分
22	<b>柿崎区公園管理費</b>	建設G	都市整備課	1,159
	利用者が安全で快適に利用できるよう、都市公園の維持管理を行う。 ・あけぼの公園 ・住吉公園			
23	<b>公立保育園運営費</b>	市民生活・福祉G	幼児保育課	8,705
	保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育サービスの充実及び保育環境の整備等を行う。 ○通園バス運行業務 ・運行業務委託 ・通園バス維持管理 ○主な修繕及び備品購入 ・柿崎第一保育園：畳入替修繕 ポータブルワイヤレスアンプ、ワイヤレスマイク購入			

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
24	<b>(仮称) 柿崎区新保育園整備事業</b> 柿崎区内における公立4保育園を統合し、新たな保育園を整備するため、測量調査等を実施する。	市民生活・福祉G	幼児保育課	16,929
25	<b>地域支え合い事業(介護保険特別会計)</b> 高齢者が気軽に集い交流できる「通いの場(すこやかサロン)」等を開催し、閉じこもりや心身の機能低下を抑制しながら介護予防につなげる。また、「出前サロン」など地域の実情に合わせた取り組みにより参加機会を広げ、介護予防や認知症への理解を深める。	市民生活・福祉G	高齢者支援課	5,177
26	<b>かきざき福祉センター管理運営費</b> 市民の健康増進と福祉の向上を図るための「地域福祉の拠点」として、地域支え合い事業や地域福祉団体等の活動の場に利用いただけるよう適切な管理運営を行う。	市民生活・福祉G	福祉課	4,629
27	<b>頸北斎場管理運営費</b> 頸北斎場の適正な維持管理に努め、安定的な運営を行うための保守点検及び施設設備の修繕を行う。 ○主な修繕工事 ・火葬炉耐火物他修繕 1号炉・3号炉炉内セラミック貼替、筒管積替 3号炉断熱扉修繕、排ガス煙道修繕 1から3号炉排ガス冷却コントロールモーター修繕 ・自動ドア ドアハンガー修繕	市民生活・福祉G	福祉課	29,867
28	<b>海岸一斉清掃(全市クリーン活動)</b> 柿崎区の海岸の環境美化・保全を図るため海岸一斉清掃を実施する。町内会等ボランティアが収集したごみ等は、重機を使い収集運搬し、処理施設において処分する。 ・実施日：7月初旬	市民生活・福祉G	生活環境課	2,358
29	<b>小・中学校関連事業(修繕・改修工事)</b> 児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、快適な教育環境の整備を図る。 ・柿崎小学校：校舎屋上防水改修工事 ランチルームエアコン更新工事 天井修繕工事(教室棟3階5年生教室) 体育館ギャラリー暗幕修繕工事 通学路樹木伐採・剪定 ・上下浜小学校：校章製作設置修繕 グラウンド散水栓修繕 プールサイド塩ビシート補修修繕 ・下黒川小学校：防火扉改修修繕 放送設備改修修繕 ・柿崎中学校：校内通路側溝蓋改修修繕 受水槽防水修繕	教育・文化G	教育総務課	66,652
30	<b>柿崎区スクールバス運行事業</b> 遠距離通学する児童生徒の通学手段及び安全を確保するとともに、児童生徒が参加する校外学習や課外活動、各種大会への有効利用を図り、柿崎区の教育環境の充実を推進する。 ・中型スクールバス購入	教育・文化G	学校教育課	49,018
31	<b>柿崎区公民館管理運営費</b> 参加者同士が学び合い、お互いに高め合う機会と場を提供しながら、人づくりを推進する。 ・地区公民館：2階空調更新工事	教育・文化G	社会教育課	32,079

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
32	<b>七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費</b>	教育・文化G	社会教育課	583
	集会、学習、レクリエーション活動などの多目的な活動の場を提供し、地域住民の生活文化の向上に寄与するため、施設の管理運営を行う。			
33	<b>体育施設関連事業（修繕・改修工事等）</b>	教育・文化G	スポーツ推進課	145,300
	柿崎総合体育館（かきざきドーム）・人工芝グラウンド等、柿崎屋内プール、柿崎体育館、第一庭球コート <sup>1</sup> の維持管理を行う。 ・柿崎総合体育館：ガスヒートポンプエアコン更新工事 ・総合運動公園野球場：照明修繕工事			



## みんなの保育園を考える会 会議記録

日 時	2月19日～2月26日	出席者	—
場 所	各保育園		
記録者	小山	欠席者	—
標 題	区内4保育園の保護者を対象とした上越市保育園の適正配置等に伴う意見交換会（3回目）の結果について		

前回の意見交換後に、説明資料・内容に関するご意見・ご質問を伺うための質問票を保護者に配付し、あらためて保護者の考えや思いを聴きました。幼児保育課では、下記1のとおり、各保育園保護者を対象に3回目の意見交換会を開催し、保護者の皆様からお寄せいただいた質問票に対する回答一覧を配付するとともに、「第4期計画概要」「建設候補地」「民間移管」等に関する意見交換を行いましたので、その内容を報告します。

### 1 日時及び会場等

保育園名	日 時	保護者出席数
柿崎第一保育園	2月19日（月）16:30～17:10	1人
柿崎第二保育園	2月22日（金）11:00～11:40	4人
上下浜保育園	2月26日（月）16:10～16:50	10人
下黒川保育園	2月22日（金）14:00～14:45	20人

※会場は各保育園

### 2 主な質問等

- Q1 柿崎体育館入り口の国道8号交差点は、柿崎方面から左折した場合、市道の幅員が狭くて侵入が困難だ。また冬期間、国道は路面が凍結しトラックがスピードを上げて跨線橋を渡るので、事故につながるおそれがある。
- 交通安全面を心配される方が多くいることは承知している。関係課に働きかけて、安全対策をしっかりと講じていく。
- Q2 柿崎体育館付近の住宅街が抜け道になっている場所も多い。子どもたちが道路に飛び出す危険もあるので、注意喚起の看板を整備してほしい。また、柿崎体育館周辺の道路について、子どもの送迎の時間帯は、送迎車以外の一般車両の通行を制限できないか。
- 一般車両の通行制限については、現実的に考えて難しいと思われるが、注意喚起の看板については関係課との調整・要望は可能であると考えている。
- Q3 保護者は通勤に合わせて子どもを送迎するので、自家用車での送迎が多いと思う。駐車場のスペースは十分確保できるのか。
- 利用定員の半数程度が駐車できるスペースを検討したいと考えている。更に柿崎体育館の敷地はスクールバスの発着場にもなっており、新園建設にあたっては関係課との調整が必要と考えている。
- Q4 通園バスはどのようになるのか。今より保育園が遠くなり送迎に時間がかかってしまう。
- 統合した場合、保育サービスは現状を維持する。現在、通園バスが運行されているのであれば、運行する方向で協議することになる。

- Q 5 柿崎体育館を壊して新しい園舎を建てるのか。
- 柿崎体育館の廃止については、公の施設の適正配置計画により決定しており、柿崎体育館の跡地利用として、新園建設を検討している。柿崎体育館の廃止時期はまだ未定である。
- Q 6 柿崎体育館は指定避難所になっている。能登半島地震では、多くの人々が避難した。柿崎体育館がなくなることから、新しい保育園は避難所としての機能をもった園舎になるのか。
- 現在、上越市内で避難所に指定されている保育園はない。保育園を避難所にする、保育園本来の機能が果たせなくなってしまうことから、柿崎体育館に代わる避難所については関係課と代替案を含めて検討しなければならない。
- Q 7 柿崎体育館周辺は、散歩する場所が少ないだけでなく安全面が気になる。国道8号は信号機や横断歩道が少なく、散歩できる環境にない。
- 他の園の保護者から、自然を活かした園庭を整備してほしいというご意見もあり、園庭を工夫していくことも一つであると考えている。散歩ルートは今後しっかり考えていきたい。
- Q 8 新しい園舎への園児の移行はどのように行うのか。
- 新しい園舎が完成したら、みんな一斉に新しい園舎に移ることを考えている。いきなり大人数になると、子どもたちの不安や負担が大きいため、開園前に区内4保育園での交流保育を行うことで、保護者・児童ともに徐々に関係性を構築したいと考えている。
- Q 9 柿崎区内には小学校が3校ある。柿崎区内の保育園が1園になったら、卒園後、子どもたちはそれぞれの小学校に入学することになってしまう。
- 三和区が保育園1園、小学校3校、中学校1校という状況だったが、小学校が統合することに決まった。柿崎区も統合に向けた動きがあるように聞いているが、保育園の統合時期と小学校の統合時期は同じになるとは限らない。
- Q 10 統合して民間移管することになった場合、統合前に、統合する4園に民間事業者の職員が入って引継ぎするのか。
- 令和4年4月に民間移管した4つの保育園は、今回の柿崎区の保育園の再編と違って、公立保育園としてまず開園し一定期間経過後、民間移管するという手法だった。いずれの保育園も、民間移管前に事業者の職員が入って引継保育を行ったことから、実績を参考に同様に進めていきたい。
- Q 11 民間移管した保育園では、若手と中堅の保育士がいなくなったと聞いた。保育の質を考えた場合、中堅の保育士が必要だと思う。民間移管した場合、そのようなことになったら市から改善するよう指導してもらえるのか。
- 今年度も保護者へのアンケート調査を実施した。前年度のアンケート結果と比較すると満足度は上がっているため、保護者から一定の理解をいただいていると思っている。
- 保育士の関係は、一定の経験年数を有した保育士を配置することを移管時の条件としている。もし、保育内容に不満等があった場合には市へ連絡していただき、市は内容を確認のうえ保育園に改善を求める。

## 柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日 時	令和6年2月29日(木) 18:00~20:00	出席者	吉井会長、片桐(宏)委員、小出委員、中村委員 蓑輪
場 所	柿崎コミュニティプラザ 市民活動室		
記録者	蓑輪	欠席者	片桐(充)委員
標 題	第35回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議		
<p>○本日のテーマ</p> <p>かきざき空き家利活用協議会 第1回理事会の協議事項の検討</p> <p>■検討結果</p> <p>1 理事会開催日時等</p> <p>(1) 日 時：令和6年3月14日(木) 午後6時から</p> <p>(2) 場 所：柿崎コミュニティプラザ 4階 A会議室</p> <p>2 協議事項</p> <p>第1回理事会において、次の事項に関して協議するものとする。</p> <p>(1) 協議会の職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務を担当する職員について説明し、役員の上承を得る。</li> </ul> <p>(2) 設立総会欠席者への議決結果の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会欠席者、委任状出席者へ決議事項を記載した文書を準備して内容を協議し、役員の上承後発送する。</li> </ul> <p>(3) 事業の詳細及びスケジュールの検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業と実施時期及び令和6年度かきざき空き家利活用協議会スケジュールに関する資料を準備して内容を協議する。</li> </ul> <p>(4) 会費及び協賛金の徴収方法について</p> <p>次の徴収方法等を提案して協議する。</p> <p>① 会費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員のうち、商工会の会員については事務所に持参してもらうよう依頼し、それ以外の会員については事務局が訪問して徴収する。</li> </ul> <p>② 協賛金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛をお願いした方から徴収してもらうよう依頼し、それ以外の協賛者については、事務局が訪問して徴収する。なお、協賛者への訪問時には礼状を作成し渡し謝意を表す。</li> </ul> <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会費及び協賛金とも領収書を発行する。</li> <li>・徴収は4月末までに完了する。</li> </ul> <p>(5) 協賛者への礼状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛金の徴収時に持参する礼状を準備して内容を協議する。</li> </ul>			

(6) オブザーバー及び顧問の委嘱について

- ・協議会会則第13条及び第14条に規定されているオブザーバー及び顧問並びに委嘱方法（依頼文書、委嘱状等）について協議する。
- ・なお、オブザーバーとして、まちづくり振興会、柿崎観光協会、柿崎商工会、柿崎区各地区町内会長協議会を候補として協議する。

(7) 補助金交付申請書、添付書類の作成・提出について

- ・地域独自の予算事業補助金の交付申請書は、事務局に一任していただくこととし、議題にあげない。

(8) 事業実施の町内会長への協力依頼について

- ・空き家調査及び協議会のオブザーバー就任に関して協力を依頼する必要があることから、町内会長連絡協議会総会時に依頼するなど、依頼方法等を協議する。

(9) 地域おこし協力隊の導入について

- ・今後の協議会の運営にあたり、公費で賄うことができる地域おこし協力隊制度を活用することにより人件費の面での経費軽減が図られる。地域おこし協力隊制度を活用するか否か、資料を準備して協議する。

3 会議の開催日程

- ・第2回理事会の開催日程及び会場について
- ・柿崎区町内会長連絡協議会総会の日程について

4 その他

(1) 上越市空き家バンクについて

- ・上越市の空き家バンクの登録数は長岡市や三条市に比べると少ない。
- ・空き家バンクに登録するには、月3回ある無料相談会に書類を揃えて参加しなければならない。手続きが面倒なので、空き家バンクに登録するよりも直接不動産業者へ行って相談してしまう。
- ・長岡市や三条市は、電話1本で市の職員が空き家の調査を行い登録する。

(2) 新潟県都市政策課の支援について

- ・県都市政策課職員2名が吉井会長にかきざき空き家利活用協議会の概要を聞き、協議会が抱えている課題等で新潟県として対応できることがあれば支援するとのこと。
- ・日時：3月12日（火）午後1時15分から
- ・会場：柿崎区総合事務所201会議室

以上

## 明日へつなぐ事業検討委員会 会議記録

日時	令和6年2月20日(火) 19:00~19:50	出席者	小出委員長、吉井会長、貝谷委員、 岩野委員、片桐(充)委員、片桐(宏)委員、 武田委員、吉村委員、小出
場所	柿崎コミュニティプラザ 306会議室		
記録者	小出	欠席者	薄波委員、白井副会長
標 題	第6回 明日へつなぐ事業検討委員会		
<p><b>1 協議事項</b></p> <p>(1) 令和7年度以降に向けた地域独自の予算事業について</p> <p><b>2 協議内容</b></p> <p>(1) 里山イノベーション研究会の視察結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容は地域協議会で説明したとおりだが、研究会の事務局から「とにかく好きな人が中心になることが、事業を動かす力になる」と助言があった。そういった人たちを早く繋いで話をした方がよいと考えている。</li> </ul> <p>(2) 今後の取組の方向性について</p> <p>第4回検討委員会から協議を続けている3事業の予算化に向けた具体策の検討を行った。任期中に3つの事業の方向性を打ち出せるように今後進めていく。</p> <p>① 柿崎川メダカ復活プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、メダカの飼育をしている人は、交配種を飼育するつもりはないとのこと。</li> <li>・日本メダカやこの地域の固有種の保存育成を課題と考え、将来的にはメダカを川へ放流し水辺環境の守っていくことにつなげる。</li> <li>・課題は固有種を探しDNA検査を行い、どのようにして固有種を増やしていくかだ。</li> <li>・来年度の地域独自の予算事業を提案し活動するために、まず趣意書を作成して賛同者を集め団体を立ち上げなければならない。</li> <li>・地域協議会の取組としては支援しなければならないが、核となる人が中心となり、団体を立ち上げて事業提案や活動に取り組んでもらうように進める。</li> <li>・小山委員がメダカの飼育をしている事業所社長に趣意書の内容や今後の取組を相談し、その相談結果を受けて再度検討する。</li> </ul> <p>② 柿崎川で鮭の孵化・遡上プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下黒川小学校が鮭の卵を孵化し、川へ稚魚を放流している。吉井会長が、「子どもたちに鮭の孵化を見せたい」という思いから下黒川小学校に働きかけた。</li> <li>・3月12日に猿毛川へ放流予定</li> <li>・内水面漁業組合が解散し対応が難しいので、吉井会長が今後の対応を考える。</li> </ul> <p>(3) 米山山麓イノベーションプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次にとおりサウナの進め方を検討する。</li> </ul> <p>日 時：3月14日(木) 午後1時30分 場 所：総合事務所 201 会議室 出席者：建設会社社長、小出委員長、吉村委員、事務局</p>			

(3) まちづくりフォーラムの報告内容について

- ・パワーポイントの資料のほか、検討委員会が実現に向けて協議している 3 つの事業を紹介する。

以 上